

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。
広報広聴課 ☎55-2700へご連絡ください。



世界の舞台で活躍する、地元出身のフォルテ・ピアノ奏者

本多 まきさん



富 土市出身で、現在フランスを拠点に演奏活動をしているフォルテ・ピアノ奏者の本多まきさん。ことし四月、イギリスのクレメンティー賞を日本人として初めて受賞しました。本多さんは「受賞でき、とても光栄です」とその喜びを笑顔で話します。

クレメンティー賞とは、作曲家であり、すぐれたピアノ製作者でもあったムツイオ・クレメンティーにちなみ、鍵盤楽器を演奏する若手音楽家育成のために創設された音楽賞です。

本多さんが演奏するフォルテ・ピアノは、現在のピアノの原型で、モーツァルトやベートーヴェンが活躍していた時代に使われていた楽器です。現在のピアノより鍵盤数が少なく、音量も大きくありませんが、繊細な音色が特徴です。

本多さんは、四歳のときからピアノを習い始め、十年前にドイツに留学。その後、フォルテ・ピアノに出会いました。「フォルテ・ピ

アノは内側に金属フレームを使わず、ほとんどが木でできています。音が濁らず、一つ一つがはっきりと響きます。演奏会では、皆さんにお話をするように弾きたいと思っています。素朴な音色に、じっくり耳を澄ませていただければと思います」と楽器の魅力を語りま

す。

九月末にロゼシアターで行われる演奏会について、「故郷で演奏でき、うれしいです。皆さんに楽しんでもらえるよう、心を込めて弾きたいですね」と話す本多さん。

来年には、イギリスでの演奏会が予定されているなど、これからの活躍も期待されます。



鈴木市長を表敬訪問する本多さん

ことしの秋、三十周年を迎える富士子ども劇場



富士子ども劇場は、「劇団」だと思われがちですが、年四回、芝居や音楽など、親子で生の舞台を観賞する会です。

昭和四十九年の発足当時は、チケット制でしたが、継続して見ることの大切さから、現在は会員制で運営、約千二百人が入会しています。年に一度、子どもまつりを開催し、子どもが主役となり家族で参加します。

会員の皆さんは、「劇を見終わつたとき子どもたちは、顔が生き生きとしています。その姿を見ると、とてもうれしいですね。また、家族のきずなが深まるばかりでなく、子育ての話など会員同士で横のつながりもできます。今回、三十周年ということで、十月二十三日と二十四日、中央公園イベント広場で、子どもの祭典『ラ・フェスタ子 劇30th』を行います。



ポスターからチケットまで、すべてが手づくり

市内初のミニ・テントサーカス（有料）や、子どもまつりでは、フリーマーケット、ゲームなど市民だれも楽しめます。現在、イベントの成功に向け、多くの会員が手づくりで準備を進めています」と準備をする手にも力が入ります。

事務局長の岡純子さんは、「現代は、形あるものにこだわりがちなですが、見る、聞くなど形にならないものにも目を向けてほしいですね。劇を見た思い出、そのときに感じた気持ちが大切であり、優しい心がはぐくまれていくと思います。そして、子どもたちの夢と創造力が豊かになってくれるとうれしいですね」と話してくれました。



子どもの祭典に向け、準備する会員の皆さん

問い合わせ

富士子ども劇場
☎六二一四六二二